

## 今号の作業

# マフラーを組み立てる④



今号ではエキゾーストパイプ1番をマフラーに取り付けるのに加え、先に組み立てたエキゾーストマフラー2番と連結する。また、キャブレターにインシュレーターを取り付け、キャブレターを完成させる。工程が多いので、焦らず慎重に作業を進めよう。

### 今号のパーツ



- ①エキゾーストパイプ1番×1
- ②ディフューザーパイプ×1
- ③インシュレーターC×2

#### 用意するもの

- ・エキゾーストマフラー2番 (15号で組み立てたもの)
- ・エキゾーストマフラー1番 (16号で仮組みしたもの)
- ・キャブレター (16号で組み立てたもの)
- ・ビス (Pタイプ / 2.3×5mm) ×4 (16号で提供し、保管しておいたもの)
- ・ビス (Gタイプ / 2.0×5mm・タッピング) ×1 (16号で提供し、保管しておいたもの)
- ・ビス (Bタイプ / 2.0×5mm) ×1 (16号で提供し、保管しておいたもの)

#### 使用する道具

- ・+(プラス)ドライバー(1番)

※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。  
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様異なる場合があります。

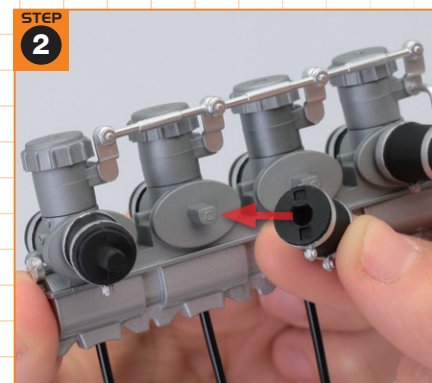
STEP  
1



「C」の刻印がある

まず③インシュレーターCの形状を確認しておこう。片面には「D」字形の穴が設けられ、その下には「C」の刻印があるはずだ。なお、「81」「82」という数字の刻印はパーツ製造上の管理番号で、組み立てには関係ない。

STEP  
2



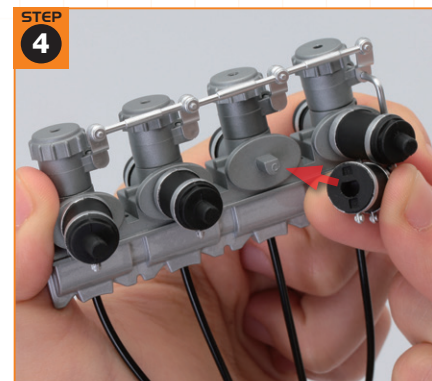
前回の作業で組み立てたキャブレターを用意し、インシュレーターCを中央部の2本のピン(先端に「C」の刻印がある)のどちらかにセットする。穴とピンの形状をしっかりと合わせよう。

STEP  
3



ピンの形状と、インシュレーターCの穴を合わせたら、指先でインシュレーターCを押し込んで固定する。

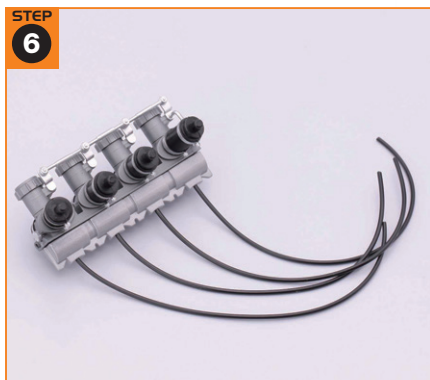
STEP  
4



もう一個のインシュレーターCを用意し、最後に残った中央部のピンにセットする。



STEP 5  
指先で真っすぐに押し込み、インシュレーターCをキャブレターに固定する。



STEP 6  
これでキャブレターは一応の完成となった。ただし、チューブ類の取り付け作業などが残っているため、後の作業に備えて大切に保管しておく。



STEP 7  
①エキゾーストパイプ1番を用意し、先端にビス穴が開けられている側をチェックする。写真のように「C」の刻印があればOKだ。



STEP 8  
前回の作業で仮組みしたエキゾーストマフラーを用意し、マスキングテープをゆっくりとはがして、パーツを2つに分けておく。



STEP 9  
エキゾーストマフラー1番・外側を用意して裏返す。細くなっている側の一番端にあるポストに、エキゾーストパイプ1番の取り付け部分をセットする。



STEP 10  
エキゾーストパイプの取り付け部分にはリング状の突起が設けられているので、そこにポストの先端を確実にはめ込む。

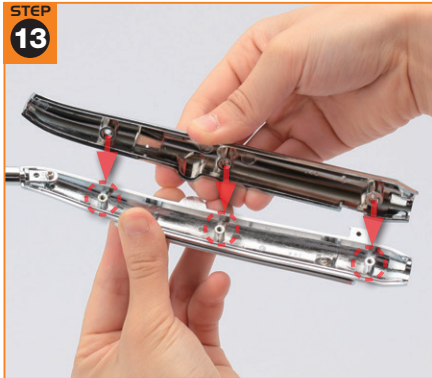


STEP 11  
Pタイプのビスを用意し、エキゾーストパイプのビス穴にセットする。



STEP 12  
1番のプラスドライバーを使い、Pタイプのビスをしっかりと締め込む。

STEP  
13



次にエキゾーストマフラー1番・内側を用意し、取り付け位置の確認を行う。エキゾーストマフラー1番・内側には、3カ所のポストが用意されているので、そこにビス穴を合わせる。

STEP  
14



エキゾーストマフラー1番・内側のポストは中央部がかぼんでおり、そこに外側のポスト先端がはまるようになっているので、位置を合わせてはめ込もう。

STEP  
15



ポストと取り付け位置を合わせて重ねたら、エキゾーストパイプを取り付けた側のビス穴にPタイプのビスをセットする。

STEP  
16



1番のプラスドライバーを使い、Pタイプのビスをしっかりと締め込む。

STEP  
17



続いて、中央のビス穴にもPタイプのビスをセットし、1番のプラスドライバーで締め込む。

STEP  
18



②ディフューザーパイプを用意し、マフラー後端の形状と照らし合わせてみよう。ディフューザーパイプの側面にはくぼみがあり、マフラー開口部の内側には突起があるので、この位置を合わせて差し込む。

STEP  
19



ディフューザーパイプをマフラー開口部から真っすぐに押し込む。固くて押し込みにくい場合は、⑬で締め込んだPタイプのビスを少しだけ緩めよう。

STEP  
20



マフラー後端のビス穴に、Pタイプのビスをセットする。上にあるビス穴は、2番マフラーとの連結用なので、間違えないよう注意すること。



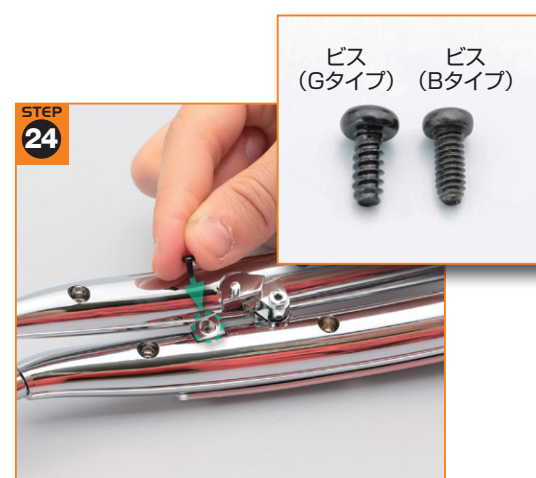
STEP 21  
1番のプラスドライバーを使い、Pタイプのビスをしっかりと締め込む。⑱で中央のビスを緩めている場合は、この段階で締め込んでおこう。



STEP 22  
15号で組み立てたエキゾーストマフラー2番を用意し、1番のエキゾーストマフラーとの取り付け位置を確認する。



STEP 23  
エキゾーストパイプが左側になるよう持った場合、エキゾーストマフラー1番が下で、その上にエキゾーストマフラー2番を重ねる。



STEP 24  
Gタイプのビスを用意し、エキゾーストマフラー1番と2番を連結する“前側のジョイント部分”にセットする。なお、GタイプのビスとBタイプのビスは見間違えやすいので要注意。ネジの刻みの粗い方がGタイプだ。



STEP 25  
1番のプラスドライバーを使い、Gタイプのビスを締め込む。写真のように平らな台の上に置き、エキゾーストパイプ部分を押し下げて作業するとやりやすい。



STEP 26  
続いて、リア側のジョイント部分にBタイプのビスをセットする。



STEP 27  
1番のプラスドライバーを使い、Bタイプのビスを締め込む。⑳の工程と同じように、平らな台に置いて作業しよう。



これで今号の作業は完了だ。マシンの左側に装着されるエキゾーストマフラー1番と2番、さらにはキャブレターも完成した。組み立てたパーツは破損しないよう、大切に保管しておこう。